

令和5年度

学校推薦型選抜A  
学生募集要項

(大学入学共通テストを課さない)

薬学部

経済学部

人文社会学部

名古屋市立大学

## 目 次

教育に関する目標とアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）…	2
人文社会学部からのお知らせ ……………	8
1 募集人員 ……………	9
2 推薦人員 ……………	9
3 出願資格 ……………	10
4 障害等を有する入学志願者との事前相談 ……………	11
5 出願手続 ……………	11
6 入学者選抜方法等 ……………	17
7 合格発表 ……………	20
8 入学手続 ……………	21
9 入学初年度納付金額 ……………	21
10 入学後に必要となる主な経費について ……………	22
11 合格者が入学を辞退した場合の取扱い ……………	22
12 薬学部学校推薦型選抜A入学手続者へのレポート課題について	23
13 経済学部学校推薦型選抜A入学手続者への入学前教育について	23
14 その他の留意事項 ……………	23
15 試験場及び学生課入試係案内 ……………	24
16 個人情報の取扱い ……………	26
17 教養教育・薬学部・経済学部・人文社会学部の概要 ……………	27

### 緊急時における大学からのお知らせについて

新型コロナウイルス感染症の状況により、本募集要項の内容を変更する必要が生じた場合や、災害の発生時などの緊急時の連絡は、本学ウェブサイトにより周知しますので、受験前は特に注意してください。

○本学ウェブサイト  
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/>



## 教育に関する目標とアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

# 名古屋市立大学

### 《教育に関する目標》

教育は、学部・大学院を問わず、大学が社会や学生・大学院生に対して果たす最優先の責務であり、その強化に取り組む。そして、あらゆる機会を通じて幅広い視野と教養、「共生」の精神、豊かな創造性を身につけた人材を育成する。また、高度な知識と技術を身につけ、目的意識と主体性を持って、地域社会及び国際社会に貢献することができる人材を育成する。

### 《アドミッション・ポリシー》

名古屋市立大学では、各学部がその理念と目的に応じて、入学者選抜試験における教科・科目を設定しており、明確な目的意識と勉学への強い意欲を持ち、大学の教育に関する目的を理解し、次のような資質を有する多様な学生を求めます。

- 十分な基礎学力とそれに裏打ちされた知識・技能
- 自ら課題を発見・解決し、それを伝える思考力・判断力・表現力
- 主体性を持ち、幅広い視野で多様な人々と協働して学ぶ態度
- 豊かな人間性と、地域や社会で活躍できる適性

## 薬学部

### 《理念と目的》

薬学は、様々な基礎科学を薬に関して総合し、医療への応用を目指す学問です。医療に不可欠な学問である薬学を志す人は、薬を通じて人類の健康と福祉の発展に貢献することが求められています。これを踏まえ、薬学部では生命薬科学科と薬学科を設置し、薬の創製・生産・臨床応用・適正管理・適正使用のための基礎知識と創造力・研究能力を有し、世界に羽ばたける多彩な薬のスペシャリストを社会に送り出すことを目指しています。

### 《アドミッション・ポリシー》

求める学生像

- 薬学への強い意欲と探究心を持った人  
科学としての薬学に強い学習意欲と探究心を有している人を求めます。
- 医療・薬学への使命感と倫理観を持った人  
薬のスペシャリストとして医療現場での薬剤師活動、医薬品の研究開発、行政などを通じて、人類の健康と福祉の発展に貢献するという使命感と倫理観を持てる人を求めます。
- 科学を中心とする幅広い学力を有する人

薬学は自然科学の応用分野で、理科系の学力を重視します。しかし、薬剤師や薬学分野の研究者・技術者には、社会科学や人文社会学をも含む幅広い学問知識と教養が必要です。そのため、文科系科目に関しても基礎的な知識を有する人を求めます。

●国際的な視野とコミュニケーション能力を持てる人

医薬品研究開発や医療人としての活動において、国際的なレベルでの連携が不可欠な時代となっています。将来、国際的な視野で考え、コミュニケーションを円滑に取り、行動できる能力の獲得を目指し、そのための努力を継続できる人を求めます。

●生命科学としての薬学への向学心を有する人（生命薬科学科）

将来、基礎薬学研究や医薬品開発等を通じて、科学者として人類の健康と福祉の発展に貢献しようという情熱を有する人を求めます。

●医療人としての自覚を持てる人（薬学科）

将来、薬剤師として患者さんを思いやり、医療に携わる様々な職種の人々と協調して、患者さんのための医療に貢献しようという意欲のある人を求めます。

●大学院への進学意欲を持つ人

卒業後は大学院に進学して創薬・生命科学、臨床薬学の進歩に貢献しようとする強い意欲を持った人を求めます。

修得しておくべき知識等の内容・水準

薬学部では、両学科とも広範で多様な学問分野を総合的に学習します。また、どのような分野で活躍するにしても、語学力（国語、英語）が必要とされます。したがって、薬学部での学修を実り多いものとするために、入学までに、化学、物理学、生物学、数学、語学の基礎学力をつけておくことが必要です。さらに、部活やボランティアなど、様々な活動に積極的に取り組むことで、表現力やコミュニケーション能力のほか、幅広い視野と高い倫理観、そして豊かな人間性を育むことが望ましいです。

選抜方法

志望する学科に必要な幅広い知識、思考力、学習意欲、探究心、倫理観を有する学生を、以下の方法により選抜する。

【学校推薦型選抜A】

高等学校卒業レベルの基礎学力を持ち、薬学を学ぶ上で重要な科目への高い理解力と応用力を有し、意欲的で協調性に富み行動力に溢れる学生を選抜する。

調査書、志願理由書および面接試験では、理解力や判断力とともに、人間性、倫理観、協調性、向学心を評価する。

小論文試験では、化学の基礎知識、文章やデータを読み解く力、論理的思考力、英語力を評価する。

## 経済学部

《理念と目的》

経済学部の基本的な目的は、広い教養を持ち、経済学と経営学の諸理論に精通し、各自が

直面するであろう経済、経営上の諸問題に柔軟かつ的確に対応できるような人材を社会に送り出すことです。

### 《アドミッション・ポリシー》

求める学生像

本学部の教育理念と目的にしたがって、次のような意欲と能力に満ちた学生が入学することを期待し歓迎します。

- 専門学科または総合学科で習得した専門的な知識等をいかし、同世代のリーダーたろうとする気概のある人
- 経済・経営分野に強い関心を持っている人
- 前向きの学習意欲を持っている人
- 自分で明確な目標を持っている人
- 国際的分野について十分な理解力を持っている人
- 豊かな教養の形成を目指す人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 自らの意見を述べ、アピールできる表現力
- 会計・情報に関連する専門的知識
- 人間の行動を理解するための幅広い知識

入学者選抜の方針

経済・経営分野の土台となる基礎学力や専門学科で学んだ専門知識を確認するために調査書や取得資格などによる総合評価を行います。さらに、小論文や面接を通じて、経済・経営の学習に十分対応できる知識とそれを利活用した思考力、判断力、表現力を確認します。これらを総合的に判断して、本学のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーにかかる資質を確認します。

## 人文社会学部

### 《理念と目的》

- 人類の豊かな未来を求めて人文科学・社会科学の諸分野について学び、今日の人間、社会、文化に関わる課題について研究して、それを社会に役立てる人材
- 現代の地域社会や国際社会が直面する複雑な諸問題を多面的に考察し、実践的に解決していく知を身につけた人材
- 少人数教育の演習・論文指導によって、発表・討論能力や構想力・文章表現力を身につけた人材

### 《アドミッション・ポリシー》

人文社会学部では次のような人の入学を期待している。

求める学生像

- 人間・社会・文化に関わる諸問題に関心をもち、持続可能な社会の形成に向けて、学際

的な知識と柔軟な発想力をもって積極的に取り組む人

- 日常、当たり前になっている習慣や規範、考え方を客観的に捉え直し、国内外における現代的課題に対して、根本的にかつ多角的にアプローチできる人
- 学ぶ意欲があり、さまざまな人との出会いや新たな経験に主体的である人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 国語・英語・数学において十分な基礎学力を有すること
- 自分の考えを筋道立てて説明できる論理的な思考力や言語表現力を持ち、他者の声に傾聴するなど十分なコミュニケーション能力を備えていること

入学者選抜の基本方針

高等学校等で学習する全ての教科が人文社会学部教育の土台になるため、いずれの入試においても、調査書の評定、または、大学入学共通テスト等で、高等学校教育段階においてめざす基礎学力を確認します。

#### 《心理教育学科 学校推薦型選抜A アドミッション・ポリシー》

求める学生像

- 幼稚園教諭免許および保育士資格を取得し、保育・幼児教育や子育て等に関わる、専門的知識を生かした仕事をすることを目指す人
- 国内外の保育・教育、または子どもの発達を科学的に探究していくことに興味をもち、子どもに関連する現代的諸課題の緩和または解決に向けて他者と協力し合い、建設的な議論ができる人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 国語・外国語・数学について十分な基礎学力を有し、その他の教科についても基礎学力を有していること
- 基本的な論理的思考力や言語表現能力、子どもをはじめとする異年齢の人とコミュニケーションをはかる能力をもち、基本的な音楽的素養を有していること

入学者選抜の基本方針

小論文試験により、特に幼児教育学・保育学の知識を修得するに足る基礎学力とそれを活用した思考力、判断力及び表現力等を確認します。また歌唱の実技試験により、幼児教育・保育現場における実践に必要な音楽的能力を確認します。さらに面接を行い、将来幼児教育・保育現場に貢献しようとする志及び本学科のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに係る資質を確認します。

#### 《現代社会学科 学校推薦型選抜A アドミッション・ポリシー》

求める学生像

- 現代社会が直面する諸問題とりわけ身近な都市圏・地域社会に深い関心を持ち、持続可能な社会の形成に向けて解決のために努力する人
- 現代社会の諸問題について、自らどのような問題であるか考え、探究し、社会科学の諸

分野を幅広く深く学び、社会調査などの基本的スキルを身につける意欲のある人

- 大学での社会科学学修のために必要な基礎知識を十分に習得し、勉学意欲を持ち、知的好奇心や柔軟な発想力を持つ人
- 学内外の社会調査・フィールドワークに積極的に参加する意欲のある人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 高校卒業程度の国語・数学・英語・社会科（地理歴史、公民）・理科の知識を十分有していること
- 大学での学修に必要な課題発見力、論理的思考、討論発表能力、文章表現力を有していること

入学者選抜の基本方針

ユネスコスクール等での集団的な活動（特にSDGsなどの社会課題解決のための活動）や社会に関する自主的な調査研究による成果のある者、あるいは高校で高い成績を収めた人で、学業成績、人物ともに優秀で、学校長が責任をもって推薦する者を対象に行います。個別学力検査、面接等で将来、現代社会が直面する諸問題の解決に貢献しようとする志及び本学科のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに係る資質を確認します。

#### 《国際文化学科 学校推薦型選抜A アドミッション・ポリシー》

求める学生像

- 自文化を相対化することで異文化の存在を認め、諸文化の対等な交流にこそ豊かな文化発展の可能性がある人と理解できる人
- 異文化に対する無理解や摩擦に起因する国際・国内問題について知的関心を持ち、自分の考えを論理的に表現できる人
- 上述の諸問題解決のために率先して行動を起こし、国際平和に必要な多文化共生社会実現のために貢献しようとする意欲のある人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 高等学校で学ぶすべての科目における十分な学力を有すること
- 言語に関心を持ち、優れた外国語運用能力を有すること

入学者選抜の基本方針

国際・国内問題について知的関心をもち、かつ諸々の問題解決のために率先して行動を起こして、多文化共生社会実現のための貢献を目指す人で、高校で高い成績を収め、学業成績、人物ともに優秀で、学校長が責任をもって推薦する人を対象に行います。個別学力検査、面接等で、将来、人文科学・社会諸科学分野の幅広い教養を身につけて国際社会に貢献しようとする志及び本学科のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに係る資質を確認します。

「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学のアドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、使用するとは限りません。



## 人文社会学部からのお知らせ

人文社会学部においては、各種の資格・免許が取得できますが、複数の資格・免許の取得を目指す場合や、他学科で開講する授業科目を履修することで取得できる資格・免許については、4年間で取得できない場合があります。受験される学科を選択される際には特にご注意ください。

資格・免許	在籍学科	心理教育学科	現代社会学科	国際文化学科
幼稚園教諭一種免許状、保育士資格		○	×	×
中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史、公民）		△	○	△
中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語）		△	△	○
社会福祉士国家試験受験資格		△	○	△
社会調査士資格		×	○	×
認定心理士資格		○	×	×

○：在籍する学科において開講する授業科目を履修することで、資格・免許が取得できます。

△：他学科において開講する授業科目を履修することで、資格・免許が取得できます。ただし、4年間で取得できない場合があります。

×：在籍する学科では資格・免許を取得できません。

※心理教育学科にて、保育士資格・幼稚園教諭一種免許状と公認心理師受験資格の同時取得は、両者の取得に必要な履修科目が大きく異なり、数多くの演習・実習が課せられるため、4年間ではできません。

## 1 募集人員

学 部	学 科	募集人員	備 考
薬学部	薬 学 科 (6年制)	6名	薬学科では、卒業により薬剤師国家試験受験資格が与えられます。
	生命薬科学科 (4年制)	4名	
経済学部	—	10名	経済学部には、公共政策学科・マネジメントシステム学科・会計ファイナンス学科の3学科があり、各学科への振り分けは2年進級時に行います。
人文社会学部	心理教育学科	5名	受験する学科を選択する際に、必ず8ページに掲載している「人文社会学部からのお知らせ」をご覧ください。
	現代社会学科	10名	
	国際文化学科	6名	

## 2 推薦人員

学 部	学 科	高等学校(中等教育学校の後期課程及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。)の推薦限度人員
薬学部	薬 学 科 (6年制)	制限はありません
	生命薬科学科 (4年制)	制限はありません
経済学部	—	3名
人文社会学部	心理教育学科	2名
	現代社会学科	2名
	国際文化学科	2名

### 3 出願資格

#### 《薬学部》

高等学校（中等教育学校の後期課程及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）を令和3年3月以降に卒業した者又は令和5年3月に卒業見込みの者で、本学薬学部への入学を強く希望し、次の各号のすべてに該当するもの

- (1) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上であり、将来、生命科学と医療科学を基礎として医療を支える重要な学問分野である薬学の研究・発展及び薬剤師職能の発展に対して貢献が期待できる能力及び適性等を有する人物として、学校長が責任をもって推薦する者
- (2) 合格した場合、必ず入学することを確約する者

#### 《経済学部》

高等学校（中等教育学校の後期課程及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）の**普通科以外**の学科を令和5年3月に卒業見込みの者で、本学経済学部への入学を強く希望し、次の各号のすべてに該当するもの

- (1) 学業成績、人物ともに優秀で、学校長が責任をもって推薦する者
- (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上である者
- (3) 次の資格のうち一つ以上を取得している、又は、調査書の会計若しくは情報科目の評定を平均した値が4.5以上の者 ※
  - ア 日商簿記2級以上
  - イ 全商簿記1級
  - ウ 基本情報技術者以上
  - エ 全商情報処理1級（ビジネス情報部門とプログラミング部門の両方取得）
- (4) 合格した場合、必ず入学することを確約する者  
※調査書の会計若しくは情報科目の評定を平均した値は小数点以下第2位を四捨五入した数値とする。

#### 《人文社会学部》

##### 【心理教育学科】

高等学校（中等教育学校の後期課程及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）を令和5年3月に卒業見込みの者で、本学人文社会学部心理教育学科への入学を強く希望し、次の各号のすべてに該当するもの

- (1) **保育士資格・幼稚園教諭免許取得に必要な単位を修得し、保育職を目指す強い意志があり**、学業成績、人物ともに優秀で、学校長が責任をもって推薦する者
- (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上である者
- (3) 合格した場合、必ず入学することを確約する者

## 【現代社会学科】

高等学校(中等教育学校の後期課程及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。)を令和5年3月に卒業見込みの者で、本学人文社会学部現代社会学科への入学を強く希望し、次の各号のすべてに該当するもの

- (1) 学業成績、人物ともに優秀で、学校長が責任をもって推薦する者
- (2) 「ユネスコスクール等での集団的な活動、特にSDGsなどの社会課題解決のための活動」や「社会に関する自主的な調査研究による成果」があり、「調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上」及び「調査書の社会科(地理歴史、公民)の評定を平均した値が3.8以上」の者。

なお、「ユネスコスクール等での集団的な活動、特にSDGsなどの社会課題解決のための活動」や「社会に関する自主的な調査研究による成果」がない場合、「調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上」及び「調査書の社会科(地理歴史、公民)の評定を平均した値が4.3以上」の者 ※

- (3) 合格した場合、必ず入学することを確約する者

※社会科(地理歴史、公民)の評定を平均した値は、社会科の評定の合計数を評定数で除し、小数点以下第2位を四捨五入した数値とする。

## 【国際文化学科】

高等学校(中等教育学校の後期課程及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。)を令和5年3月に卒業見込みの者で、本学人文社会学部国際文化学科への入学を強く希望し、次の各号のすべてに該当するもの

- (1) 学業成績、人物ともに優秀で、学校長が責任をもって推薦する者
- (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上であり、かつ、外国語の学習成績の状況が4.5以上又はTOEIC公開テスト(Listening & Reading)580点以上、実用英語技能検定2級以上若しくは独語・仏語・中国語検定3級以上を取得している者

その他の外国語検定については実情に応じて判定するので、出願の前に本学に問い合わせること

- (3) 合格した場合、必ず入学することを確約する者

## 4 障害等を有する入学志願者との事前相談

障害等がある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、令和4年9月2日(金)までに必ず本学 学生課入試係へ申し出てください。

### (1) 相談の方法

受験事前相談・配慮措置申請書(診断書等の必要書類添付)を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁できる高等学校関係者等との面談等を行います。

- (2) 連絡先 本学 学生課入試係 (TEL 052-853-8020)

## 5 出願手続

インターネット出願システムで出願情報の登録及び入学検定料の支払いを行った後に、出願期間内に出願書類を郵送により提出してください。(出願期間内に

本学へ書類が到着しない場合は、受験できませんのでご注意ください。)

本学ウェブサイト>入試情報>学部入試情報>インターネット出願について  
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/undergraduate/internet/>

【インターネット出願システムを利用した出願の流れ】

①出願情報の登録	インターネット出願システムへの登録期間にパソコンやスマートフォンから、本学のインターネット出願システムにアクセスし、画面の指示に従って出願情報を登録してください。
②出願情報の確認	<b>入学検定料の支払い前に</b> 登録した内容に誤りがないか必ず確認してください。入学志願票（確認用）を印刷して確認することもできます。
③入学検定料の支払い	検定料の支払い方法を選択し、入学検定料17,000円+支払手数料を支払ってください。支払い方法は以下のいずれかです。 ・クレジットカード      ・コンビニエンスストア ・ネットバンキング      ・ペイジー対応銀行ATM
④入学志願票等の印刷	入学志願票（提出用）及び宛名ラベルを印刷してください。
⑤出願書類の提出	「(4) 出願に必要な書類等」に記載されている書類を本学学生課入試係へ書留速達郵便で送付してください。

※出願情報の登録だけでは出願手続きは完了しません。下記出願期間内に

「(4) 出願に必要な書類等」に記載されている書類を郵送で提出することで完了します。

(1) 出願期間

令和4年11月1日(火)から令和4年11月7日(月)16:00(必着)

※消印有効ではありませんので、郵便事情を考慮して早めに送付してください。なお、出願期間最終日(11月7日(月))のみ、郵送による出願ができない理由がある場合に限り、持参による出願書類の提出を認めます。この場合、必ず、同日の9:00から15:00の間に学生課入試係(052-853-8020)に予め連絡した上で、16:00までに本要項に記載してある出願書類の郵送先へ持参により提出してください。

※インターネット出願システムへの登録期間は、令和4年10月24日(月)9:00から令和4年11月7日(月)16:00までです。

(2) 出願書類の郵送先

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地 桜山キャンパス  
名古屋市立大学 学生課入試係

(3) 出願書類の提出方法

- ア 書留速達郵便で送付してください。
- イ 出願期間を過ぎた場合は受理しません。

(4) 出願に必要な書類等

本学所定の様式(志願理由書、推薦書、推薦入学確約書)及び出願書類⑧・⑨の様

式例については本学ウェブサイトに掲載しています。

本学ウェブサイト>入試情報>学部入試情報>学生募集要項(一般・推薦・留学生・帰国生徒等)

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/undergraduate/guide/>

から様式をダウンロードの上、作成してください。

	書類等	提出の必要			説明
		薬	経	人	
インターネット出願システムから印刷する書類	① 入学志願票 (提出用)	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>顔写真データのアップロード及び入学検定料の支払いが完了した後、インターネット出願システムから白色のA4用紙に印刷してください。(カラー、モノクロのどちらでも可)</li> <li>顔写真データは上半身、無帽、正面向き、背景なし、カラー、出願前3か月以内に撮影したものをアップロードしてください。</li> <li>入力上の留意事項については15ページを参照</li> </ul>
	② 宛名ラベル (出願封筒用)	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>顔写真データのアップロード及び入学検定料の支払いが完了した後、インターネット出願システムから、白色のA4用紙に印刷したものを市販の角型2号封筒(各自でご用意ください。)に貼り付け、出願に必要な書類を封入してください。</li> <li>1つの封筒には1名分のみとし、2名分以上封入してはいけません。</li> </ul>
本学ウェブサイト掲載する出願書類	③ 志願理由書	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬学部は、本学所定の用紙により、志願者が直筆で作成したもの(500文字以内)、経済学部は、本学所定の用紙により、志願者が作成したもの(800文字程度で、パソコン等の機器も使用可能とする)、人文社会学部は、本学所定の用紙により、志願者が直筆で作成したもの(500文字程度)とする。</li> </ul>
	④ 推薦書	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>本学所定の様式により学校長が記載し、<b>密封したもの</b></li> <li>A4用紙両面印刷し、書式を変更せず、指定された枠のサイズ内に記してください。</li> </ul>
	⑤ 推薦入学確約書	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>本学所定の用紙に志願者が署名及び学校長が記載し、<b>押印したもの</b>。</li> </ul>
その他必要な書類	⑥ 調査書	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校長が証明し、<b>密封したもの</b></li> <li>廃校・被災等その他の事情により調査書が得られない場合には、9月2日(金)までに事前に本学 学生課入試係に問い合わせてください。</li> <li>本学では、学習成績概評がAに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」の欄にⒶと標示することを希望します。この場合、「備考」の欄にその理由を必ず明示してください。(理由を明示しない場合は、Ⓐの扱いをしません。)</li> </ul>

	書類等	薬	経	人	説明
その他必要な書類	⑦ 資格取得証明書 ( <u>経済学部のみ</u> )	×	△	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>簿記、情報処理の指定した資格を取得していることの証明書</li> <li>コピーでも可。ただし、コピーでの提出の場合は、志願者を推薦した学校において原本と相違ないことを確認の後、コピーの余白に「原本と相違ありません」と記載のうえ、公印を押したものを提出してください。</li> </ul>
	⑧ 「高校入学後に行った特筆すべき諸活動」の概要書 ( <u>心理教育学科のみ</u> )	×	×	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>人文社会学部心理教育学科志願者は全員、高校入学後に行った特筆すべき諸活動についての説明を、志願者がA4用紙1枚(片面、全体で1,200字程度)に本学ウェブサイト掲載の様式例にならって作成し、必ず提出してください。</li> <li>優先順位は、1. 授業時間内の「正課」のクラブ活動ではない、課外の部活動や、自分が住んでいる地域での継続的なボランティア活動や、個人的にしている社会貢献活動 2. 高校の「正課」のクラブ活動や、生徒自治会、各種委員会などでの活動 3. その他、社会や学校に役立つ活動 とします。1. に該当する諸活動があれば、それについて詳しく書き、なければ、2. 以下に該当する諸活動について、保育職を目指すことと関連させながら書いてください。</li> </ul>
	⑨ 「ユネスコスクール等での集団的な活動、特にSDGsなどの社会課題解決のための活動」や「社会に関する自主的な調査研究による成果」の概要書 ( <u>現代社会学科のみ</u> )	×	×	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>人文社会学部現代社会学科志願者(社会科(地理歴史、公民)の評定を平均した値が4.3以上の者も含む。)で、「ユネスコスクール等での集団的な活動、特にSDGsなどの社会課題解決のための活動」や「社会に関する自主的な調査研究による成果」がある場合、志願者がA4用紙1枚(片面、全体で1,200字程度)に本学ウェブサイト掲載の様式例にならって作成し、必ず提出してください。</li> <li>現物(報告書等)があれば必ず添付してください。コピーでも可。ただし、返却できませんので注意してください。</li> </ul>
	⑩ TOEIC公開テストの公式認定証 ( <u>経済学部・人文社会学部国際文化学科のみ</u> )	×	△	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済学部志願者はTOEIC公開テスト450点以上、人文社会学部国際文化学科志願者はTOEIC公開テスト580点以上を取得している場合のみ</li> <li>原本(コピーは不可)を提出してください。</li> <li>テストの種類は、Listening &amp; Readingに限ります。</li> <li>※ウェブサイトからダウンロードし、印刷された成績表は不可。</li> </ul>
	⑪ 外国語検定合格証明書 ( <u>経済学部・人文社会学部国際文化学科のみ</u> )	×	△	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済学部志願者は実用英語技能検定準2級以上、人文社会学部国際文化学科志願者は実用英語技能検定2級以上又は独語・仏語・中国語検定3級以上を取得している場合のみ</li> <li>検定実施機関が作成したもの(原本)</li> <li>実用英語技能検定の合格証明書(再発行可)を提出する際は、合格証書(証書とカード)を切り離したものを送付してください。</li> <li>その他外国検定で再発行ができないものについては、原本のコピーを提出してください。(入学手続き時に原本を確認します。)</li> </ul>

	書類等	薬	経	人	説明
その他必要な書類	⑫ 数学検定合格証明書 ( <u>経済学部のみ</u> )	×	△	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済学部志願者で数学検定準2級以上を取得している場合のみ</li> <li>・検定実施機関が作成したもの(原本)</li> </ul> ※「合格証」及び「デジタル合格証」の提出又は提示は不可。
	⑬ GTECの オフィシャルスコア証明書 ( <u>経済学部のみ</u> )	×	△	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済学部志願者でGTEC「Advanced」690点以上又はGTEC「CBT」690点以上を取得している場合のみ</li> <li>・原本(コピーは不可)を提出してください。</li> </ul>

### (5) 入学検定料の返還

- ア 第1段階選抜の不合格者に対しては、13,000円を返還します。該当者には、第1段階選抜結果通知の際に本学所定の書類によりお知らせします。
- イ 上記アの場合以外は原則として既納の入学検定料は返還しません。ただし、以下の場合は、納入された入学検定料を返還します。詳細は本学ウェブサイト (<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/fee/refund/>) をご覧ください。
- ・二重で支払いをした場合
  - ・入学検定料等の支払い後、出願書類を提出しなかった場合(出願が受理されなかった場合も含む。)

### (6) 受験票のダウンロード及び印刷

- 第1段階選抜の合格者及び第1段階選抜を実施しなかった学部の志願者は、令和4年11月14日(月)10:00から、インターネット出願システムより受験票のダウンロード及び印刷が可能となります。各自で印刷してください。
- なお、第1段階選抜の不合格者はダウンロード及び印刷ができませんので、ご注意ください(第1段階選抜の不合格者は、受験票のダウンロード画面に「1次不合格」と表示されます)。

### (7) 受験案内

- 受験案内は本学ウェブサイトに掲載いたします。試験場や集合場所、その他受験上の注意事項は受験案内で必ずご確認ください。
- 本学ウェブサイト>入試情報>入試実施状況>受験案内  
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/application-status/guide/>  
 掲載期間：令和4年11月14日(月)10:00から

### (8) インターネット出願システム入力上の留意事項

- ア 「居住地」の欄は、名古屋市在住の方で、志願者又は配偶者若しくは1親等の親族が入学の日(4月1日)において同日の前から引き続き1年以上の期間、名古屋市内に住所を有していることを住民票により証明できる方(名古屋市住民等)は「名古屋市内居住(1年以上)」を、名古屋市内に住所を有している期間が1年未



満の方は「名古屋市内居住（1年未満）」を、名古屋市外に居住の方は「名古屋市内居住ではない」を選択してください。

イ 「住所等」の欄は、令和5年4月上旬まで確実に連絡を受けることができる連絡先を入力してください。

ウ 「メールアドレス」欄は、パソコン・携帯電話の両方を持っている場合は、どちらか一方のアドレス（確実に受信できるもの）を入力してください。

エ 「緊急連絡先」欄は、本人に連絡がとれないときに確実に連絡できる方（保護者等）の情報を入力してください。

## 6 入学者選抜方法等

### 《薬学部》

#### (1) 第1段階選抜

入学志願者が募集人員の約10倍を超えた場合は、出願書類により、学業成績及び志望学科に対する意欲・適性等をみて、第1段階選抜を実施し、募集人員の約10倍の合格者を決定します。第1段階選抜の結果は学校長に通知するとともに、第1段階選抜の不合格者に第1段階選抜判定通知書と入学検定料の返還に関わる本学所定の書類を郵送します。

#### (2) 第2段階選抜

第1段階選抜合格者に対して小論文及び面接試験を実施します。

教科等	評価のポイント
小論文	基礎的学力（「化学基礎」「化学」の学習内容に関する客観的問題を含む）、問題の解釈力、全体的構合力、論理的思考力、文章表現力、個性的な着眼力、創造力などを総合的に評価します。
面接	専門領域に関する興味や知識、表現力、積極性・適性、高校生活の活動状況及び将来の学習意欲などを総合的に評価します。

#### ア 実施日時・場所

令和4年11月19日（土）

10：00 ～ 11：40 小論文

13：00 ～ 面接

名古屋市立大学滝子キャンパス

名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1（24・25ページ図参照）

#### イ 選抜基準

調査書、学校長の推薦書、志願理由書、小論文及び面接試験の成績による審査の結果を総合して入学者の選抜を行います。

### 《経済学部》

#### (1) 第1段階選抜

入学志願者が40名を超えた場合は、出願書類により、学業成績及び本学部への進学に対する意欲・適性等をみて第1段階選抜を実施することがあります。第1段階選抜の結果は学校長に通知するとともに、第1段階選抜の不合格者に第1段階選抜判定通知書と入学検定料の返還に関わる本学所定の書類を郵送します。

#### (2) 第2段階選抜

第1段階選抜合格者に対して小論文及び面接試験を実施します。

教科等	評価のポイント
小論文	経済・経営の学習に十分対応できる知識とそれを利活用した思考力、判断力、表現力などを総合的に評価します。
面接	専門領域に関する関心や知識、学習意欲、表現力、コミュニケーション力、積極性、高校生活の活動状況などを総合的に評価します。 形式は個人面接とします（15分程度）。

#### ア 実施日時・場所

令和4年11月19日（土）

10：00 ～ 11：40 小論文

13：00 ～ 面接

名古屋市立大学滝子キャンパス

名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1（24・25ページ図参照）

#### イ 選抜基準

調査書、学校長の推薦書、志願理由書、小論文及び面接試験の成績による審査の結果を総合して入学者の選抜を行います。

なお、出願時に「A - 1 日商簿記2級以上」、「A - 2 全商簿記1級」、「B - 1 基本情報技術者以上」又は「B - 2 全商情報処理1級」のより上位の級やA・B両系統の資格取得証明書を提出した者、「C 数学検定準2級以上」又は「D 英検準2級以上（又はTOEIC 450点以上若しくはGTEC 690点以上）」の資格取得証明書等を提出した者には加点します。

## 《人文社会学部》

### (1) 第1段階選抜

#### 【心理教育学科】

入学志願者が20名を超えた場合は、出願書類により、学業成績及び志望学科に対する意欲・適性等をみて、第1段階選抜を実施し、20名程度の合格者を決定します。第1段階選抜の結果は学校長に通知するとともに、第1段階選抜の不合格者に第1段階選抜判定通知書と入学検定料の返還に関わる本学所定の書類を郵送します。

#### 【現代社会学科】

入学志願者が20名を超えた場合は、出願書類により、学業成績及び志望学科に対する意欲・適性等をみて、第1段階選抜を実施し、20名程度の合格者を決定します。第1段階選抜の結果は学校長に通知するとともに、第1段階選抜の不合格者に第1段階選抜判定通知書と入学検定料の返還に関わる本学所定の書類を郵送します。

#### 【国際文化学科】

入学志願者が25名を超えた場合は、出願書類により、学業成績及び志望学科に対する意欲・適性等をみて、第1段階選抜を実施し、25名程度の合格者を決定します。第1段階選抜の結果は学校長に通知するとともに、第1段階選抜の不合格者に第1段階選抜判定通知書と入学検定料の返還に関わる本学所定の書類を郵送します。

## (2) 第2段階選抜

### ア 実施日・場所

令和4年11月19日（土）

名古屋市立大学滝子キャンパス

名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1（24・25ページ図参照）

### イ 選抜基準

調査書、学校長の推薦書、志願理由書、その他出願書類及び小論文並びに面接試験の成績による審査の結果を総合して入学者の選抜を行います。

### 【心理教育学科】

第1段階選抜合格者に対して小論文及び面接試験を実施します。

教科等	時間	評価のポイント
小論文	10:00～ 11:30	幼児教育・保育のテーマについての理解力、論理的に考えて適切に文章表現する力を総合的に評価します。
面接	13:00～	幼児教育・保育に関する関心や学習意欲、コミュニケーション力、高校での活動状況などと共に、保育者に必要な歌唱力を踏まえて、総合的に評価します。 形式は個人面接とします（10分程度）。

※今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、音楽的能力の適性検査として行っていた歌唱の実技試験を第2段階選抜実施日に行いません。出願締切後、出願者全員に対し、保育現場でよく使用される歌の曲名を、電子メール

(shingaku@adm.nagoya-cu.ac.jp)にてお知らせします（出願時に入力されたアドレス宛）。指定された曲の歌唱の様子を各自動画に録画し、録画したデータをDVD-R、CD-RまたはUSBメモリ（DVD-R、CD-R推奨）に保存して、第2段階選抜実施日の3日前（令和4年11月16日（水））必着で本学学生課入試係に郵送してください。なお、第2段階選抜試験当日にも、郵送済みの、録画データが保存された媒体と同じものを持参してください。

その他の詳細については本学から送信するメールをご確認ください。

## 【現代社会学科】

第1段階選抜合格者に対して小論文及び面接試験を実施します。

**\*面接試験のプレゼンテーション時に使用する発表内容を図示した資料（A3用紙1枚のみ。使い方は自由。）は、試験当日に必ず持参してください。**

教科等	時間	評価のポイント
小論文	10:00～ 11:30	現代社会についての理解力、論理的思考力、表現力、個性的な視点、創造力などを総合的に評価します。
面接 (プレゼンテーションを含む。)	13:00～	専門分野に関する知的関心、学習意欲、積極性、基礎知識、理解力、表現力、高校での活動状況などを総合的に評価します。 形式は個人面接とします。最初の5分をプレゼンテーションの時間とします。高等学校在学中に行った、「ユネスコスクール等での集団的な活動、特にSDGsなどの社会課題解決のための活動」又は「社会に関する自主的な調査研究による成果」、社会科に関する学習を踏まえて、現在あなたが関心をもっている現代社会の問題を一つ挙げてその概要を説明してください。また、それに対して大学での学修を通してどのように取り組んでいくのか、現段階での勉強計画を発表してください。その際、発表内容を図示した資料*（A3用紙1枚のみ。使い方は自由）を用いながら説明を行うこととします。 プレゼンテーションの後、面接を10分程度で行います。なお、「ユネスコスクール等での集団的な活動、特にSDGsなどの社会課題解決のための活動」又は「社会に関する自主的な調査研究による成果」の概要書及び現物（報告書等）を提出した場合は、面接でその内容・研究方法等についての質問も行います。

## 【国際文化学科】

第1段階選抜合格者に対して小論文及び面接試験を実施します。

教科等	時間	評価のポイント
小論文	10:00～ 11:30	異文化や国際問題についての理解力、論理的思考力、文章表現力、個性的な視点、創造性などを総合的に評価します。
面接	13:00～	専門分野に関する知的関心、学習意欲、積極性、基礎知識、理解力、表現力、討論能力、高校での活動状況などを総合的に評価します。 形式は5人1組を原則とし、1対1応答形式及び討論形式で実施。前者が各組25分程度、後者は資料を読む時間を含め、各組35分程度。

## 7 合格発表

(1) 日時 令和4年12月1日（木） 10:00

(2) 方法 合格者の受験番号を本学ウェブサイトに掲載するとともに、学校長に可否結果、合格者に入学許可書及び入学手続関係書類を送付します。（電話等

による問合せには一切応じません。また、掲示板等での掲示はありません。）  
不合格者には送付しませんので、必ず本学ウェブサイトで合否を確認してください。

本学ウェブサイト <https://www.nagoya-cu.ac.jp/>

なお、合格しているにもかかわらず、通知が12月6日（火）13:00までに未到達の場合に限り、同日17:00までに本学 学生課入試係に問い合わせてください。

学校推薦型選抜の合格者は、他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く※。以下同じ。）及び本学の各学部を受験しても合格対象者として取り扱いません。

※ 独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ウェブサイト (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) で確認ください。

## 8 入学手続

(1) 日 時 令和4年12月13日（火） 13:00～16:00

(2) 場 所 本学桜山キャンパス本部棟（24・25ページ図参照）

(3) 方 法 本学の受験票及び入学時納付金納付証明書等（詳細は合格者に送付する「入学手続のお知らせ」でお知らせします。）を持参して手続してください。  
ただし、郵送による手続も可能です。

※ 令和4年12月13日（火）に入学手続を行わないときは、合格者としての権利を失いますので注意してください。

（郵送による手続の場合は、書留速達で令和4年12月12日（月）までに必着となります。）

## 9 入学初年度納付金額

(1) 学 費

区 分	名古屋市住民等	その他の者
入 学 料	232,000円	332,000円
授 業 料	535,800円	535,800円
計	767,800円	867,800円

注1 入学料は入学手続時に納付してください。入学手続後の入学料の返還はできません。

注2 入学料、授業料は、令和4年4月入学者の金額です。令和5年度入学者については改めてお知らせします。

注3 授業料は、入学後、年2回（前期・後期）に分けて引落を実施します。

注4 名古屋市住民等とは、①入学者又は②配偶者若しくは1親等の親族が入学の日

(4月1日)において同日の前から引き続き1年以上の期間名古屋市内に住所を有していたことを住民票により証明できる者を指します。

注5 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

## (2) 諸団体納付金

区 分	薬学部		経済学部	人文社会学部
	薬学科	生命薬科学科		
後 援 会 費	90,000円	60,000円	60,000円	60,000円
同 窓 会 費	20,000円 (薬友会)	20,000円 (薬友会)	30,000円 (瑞山会)	15,000円 (瑞桜会)
交 流 会 費	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円
学 友 会 費	11,000円	8,000円	8,000円	8,000円
経 済 学 会 費	—	—	6,000円	—
学生教育研究 災害傷害保険料	4,800円	3,300円	3,300円	3,300円
学 研 災 付 帯 賠償責任保険料	2,040円	1,360円	—	1,360円
計	132,840円	97,660円	112,300円	92,660円

注1 入学手続き時に入学料とあわせて納付してください。

注2 上記金額については変更する場合があります。確定額については入学手続き書類送付時にお知らせします。

注3 学生教育研究災害傷害保険は、入学時に全員加入となります。本学の教育研究活動中及び通学中に生じた急激かつ偶然な外来の事故によって身体に被る傷害に対して保険金が支払われます。なお、薬学部薬学科のみ、病院等で臨床実習を行う学生を対象とした接触感染予防保険金支払特約が含まれています。

注4 学研災付帯賠償責任保険は、特定の学部のみ入学時に全員加入となります。正課(実習等)、学校行事、課外活動及びその往復において、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合等により、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について保険金が支払われます。

## 10 入学後に必要となる主な経費について

入学以後、学部によって以下の経費が必要になります。

- ・ 全国統一の共用試験受験料
- ・ 感染予防ワクチン接種料
- ・ リメディアル教育経費
- ・ 学外実習費等の経費

## 11 合格者が入学を辞退した場合の取扱い

特別の事情による場合は、推薦学校長と連署のうえ、その理由を記した「推薦入学辞退願」を令和4年12月12日(月)までに提出し、本学の許可を得てください。

許可を受けない場合は、国公立大学の個別学力検査(一般選抜)を受験しても、その

合格対象者とはなりません。

## 12 薬学部学校推薦型選抜A入学手続者へのレポート課題について

入学後の専門教育に備え、レポート課題を課します。詳しい内容等については、入学手続後にお知らせします。

## 13 経済学部学校推薦型選抜A入学手続者への入学前教育について

未習科目についての入学前教育を行います。詳しい内容等については、入学手続後にお知らせします。

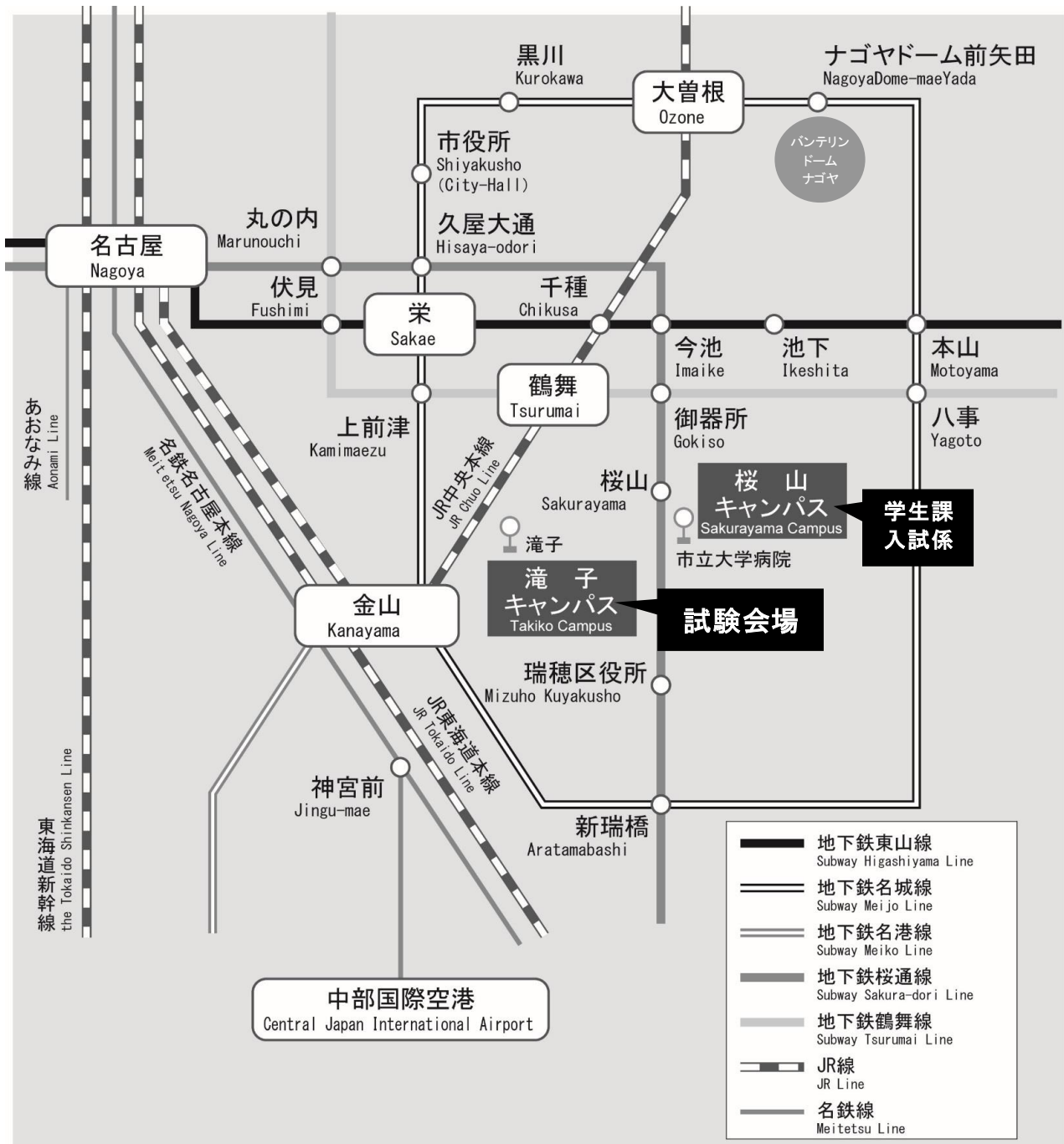
## 14 その他の留意事項

- (1) 学校推薦型選抜の志願者は、国公立大学の一般選抜の併願について、前期日程から1、後期日程から1、公立大学中期日程から1の合計3までの大学・学部を選んで出願することができます。(ただし、本学校推薦型選抜合格者を除く。)
- (2) 提出された出願書類は返却しません。
- (3) 出願書類等に不備がある場合は受理しないことがありますので、十分注意してください。なお、出願手続後は書類等の返却及び記入事項の変更は認めません。  
ただし、連絡先について変更があれば速やかに本学学生課入試係まで郵便はがき等で連絡してください。
- (4) 本学の受験票は、入学手続に必要ですから大切に保管しておいてください。
- (5) 本学校推薦型選抜に出願する者は、他の国公立大学及び本学のあなたが出願する学部以外の学部で実施する学校推薦型選抜に出願することはできません。  
ただし、本学校推薦型選抜の不合格者は、本学のあなたが出願する学部で実施する大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜に出願することはできます。
- (6) 試験場周辺又は桜山駅周辺において、本学の名をかたって有料で合否の通知を行うので申し込むように勧誘する者がありますが、本学とは一切関係ありませんのでご注意ください。
- (7) 本学が課している小論文、面接のうち一つでも受験しないものがある場合は不合格となります。
- (8) 学校推薦型選抜による入学者は入学後の転学科はできません。
- (9) インターネット出願システム又は出願書類に虚偽の登録又は記載をした場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことがあります。
- (10) TOEIC公開テスト(Listening & Reading)は、受験後、成績が送付されるまでにかかなりの時間がかかりますので、出願期間に間に合うよう注意して受験してください。



## 15 試験場及び学生課入試係案内

下記については参考として掲載しております。必ず直前にご自身で確認の上、ご利用ください。

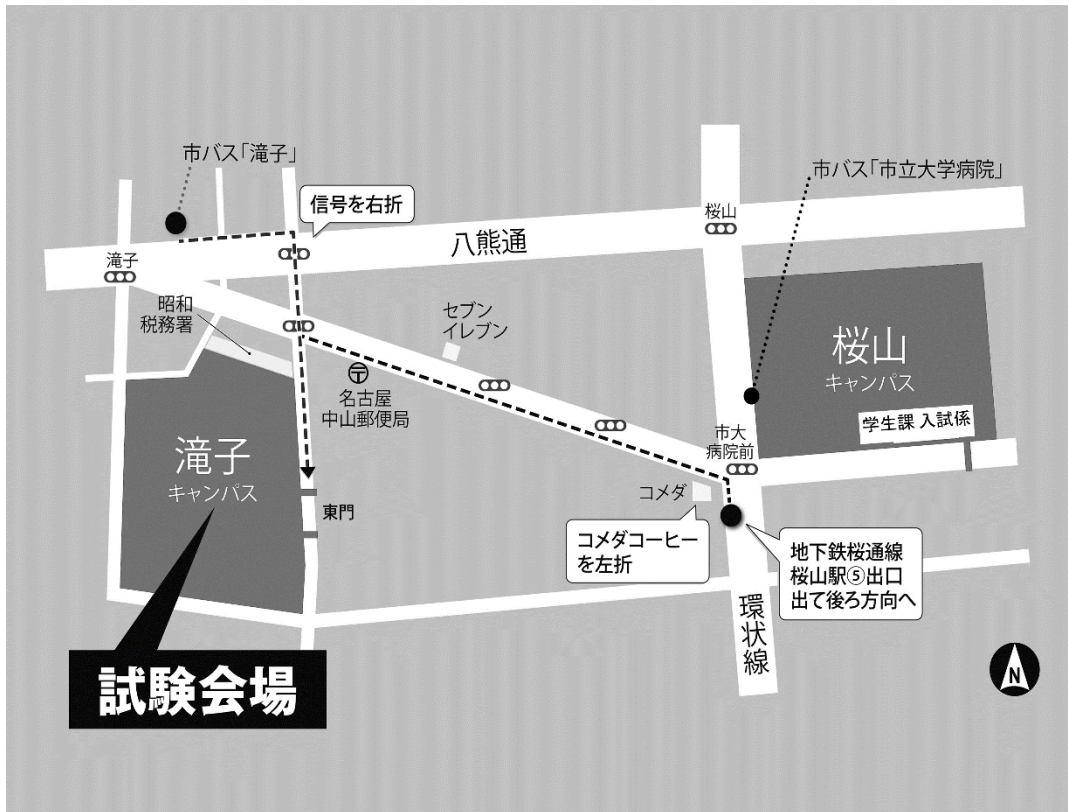


### 敷地内全面禁煙について

本学は、敷地内禁煙を実施しており、学生の皆さんにもこの方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております。

20歳未満の喫煙は法律で禁止されていますが、喫煙が健康に及ぼす悪影響に鑑み、皆さんが本学入学後、喫煙者とならないよう強く希望します。

## 【付近図】



### 地下鉄

路線名	下車駅	備 考
桜通線	桜 山	滝子キャンパスへは5番出口から徒歩約10分

### 市バス

バス停	のりば	市バス経路			下車するバス停	備 考
		系統	起点	行先		
金山バスターミナル	7番	金山11	金 山	池 下	滝 子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滝子通2丁目は一つ手前のバス停ですから注意してください</li> <li>・バス所要時間はいずれも約15分</li> <li>・バス停「滝子」から滝子キャンパスまでは徒歩数分</li> </ul>
		金山16		瑞穂運動場東		
		金山12		妙見町		
	8番	金山14		桜山経由瑞穂運動場東		

## 16 個人情報の取扱い

個人情報については「名古屋市個人情報保護条例」に基づいて、次のとおり取扱います。

### (1) 個人情報の利用

- ア インターネット出願システムに登録又は出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜業務（出願登録処理、選抜実施、合格発表、入学手続等）を行うため使用します。
- イ 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報を、今後の入学者選抜及び大学教育の改善のための調査研究や学術研究の資料として利用する場合があります。（調査研究の発表に際しては、個人が特定できない形で行います。）
- ウ 入学者の個人情報については、教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- エ 国公立大学の分離分割方式による合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、高等学校名、可否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。

### (2) 業者への委託

上記(1)の各業務での利用に当たっては、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、一部の業務を外部の事業者へ委託することがあります。

# 17 教養教育・薬学部・経済学部・人文社会学部の概要

教養教育・専門教育いずれも令和4年度の授業科目を紹介しています。

## (1) 教養教育

社会の一員として自己のあり方を認識し、自らよりよき生き方を探求し、あわせて社会全体の幸福の実現に向けて貢献ができるよう、人間形成を図るとともに、専門教育への確かな土台を築くことを意図して、下記のような授業科目を開設し、体系的な教育課程を編成しています。

区 分		科 目 名
共 通 科 目	大学特色科目	主体的学習のための基礎演習 心豊かに健康に生きるための学び キャリア形成に備えた学び キャリアに関わる学び NCU先端科目（医療系 自然・情報系 社会科学系 人文系） 地域社会で活躍する女性 共生社会におけるふれあいネットワーク 現代社会と人と地域のつながり 名古屋市政を通してみる現代社会の諸問題 ESDと地域の環境 多文化共生と国際貢献 ワークライフバランスとダイバーシティ まちづくり論 次世代エネルギーワークショップ 起業家になる 科学館・博物館・美術館から知る名古屋 中国短期語学研修 フランス短期語学研修
	現代社会の諸相	日本国憲法 なぜ憲法が必要なのか 法学入門 知的財産権入門 人と法と医療 経済と社会 経済のしくみ 経済学の考え方 企業と社会、個人の関係 企業活動の諸相 組織を取り巻く諸環境について 社会学 社会環境論 新聞報道の現場から 環境行動学と情報リテラシー 平和論 私たちの暮らしと政治・行政・地方自治 国際政治と社会 フィールド研究からみるアジア キー・コンピテンシー シティズンシップ入門 地域力を高めるひとづくり
	文化と人間性の探求	琉球・沖縄の歴史・文化を識る 日本文化の理解 人類学 日本語コミュニケーション 囲碁に学ぶ 死の文化学 東ヨーロッパの文化と歴史 文化に見る歴史 欧州史の中の北欧史 アメリカ史入門 都市と地域構造の地理学 音楽と文化 デザインと情報 人間と表現 自分とみんなで考える哲学 討論の中で問題を発見する哲学 応用倫理学－生命倫理の現在 心理学概論 心理学入門 現代教育の諸相 次世代育成と地域の課題 宗教学入門
	人間と自然	科学史 環境と社会・制度・政治・経済 環境科学 植物の多様性と環境 動物とヒトの進化多様性 社会と医学 くすりと社会 都市と自然 健康と生活 行動生態学
	自然と数理の探求	教養として知っておきたい様々な病気の実態 創薬と生命 宇宙のなりたち 植物とバイオテクノロジー エネルギーのサイエンス バイオサイエンス入門 情報と数理の世界 データサイエンスへの誘い 地球史入門 地域生態学
	英 語	IS: Community IS: Social Justice IS: Life & Work IS: Health & Well-being IS: The Arts AE: Make a Difference in Your Community AE: Interact Internationally AE: Improve Life Skills AE: Raise Health/Environmental Awareness AE: Produce a Movie CS: Presentation CS: Grammar and Usage CS: TOEIC Preparation EM: World News EM: Popular Culture EM: Reading for Inspiration EM: Online Articles and Videos
	その他の言語	ドイツ語初級・初級会話 フランス語初級・初級会話 中国語初級・初級会話 韓国語初級 スペイン語初級 日本手話初級 ポルトガル語入門 ロシア語入門 イタリア語入門 アラビア語入門 日本語上級 日本語リーディング・リスニング 日本語ライティング 日本語プレゼンテーション 日本語ディスカッション 日本語レポート作成
	情報科目	情報処理基礎 情報処理応用
	健康・スポーツ科目	健康・スポーツ科学 健康・スポーツ実技
	ボランティア科目	
基 礎 科 目	物 理 学	物理学基礎 力学 電磁気学
	化 学	化学概論 化学熱力学基礎
	生 物 学	生物学基礎 生物学
	自然科学実験	自然科学実験
	数学・統計学	微分積分学 線形代数学Ⅰ・Ⅱ 数学A1・A2 数学B1・B2 統計学A・B
	地域参加型学習	医薬看連携地域参加型学習 地域連携参加型学習
早期体験学習	生命薬科学研究入門	

※学部によって、履修可能な科目が異なります。

※それぞれの母語科目を履修してその他の言語の必要単位とすることはできません。

## (2) 専門教育（薬学部）薬学科（6年制）・生命薬科学科（4年制）

### 「カリキュラムの概要と進路」

薬学科では、医薬品と薬物療法に関わる医療科学を総合的に学び、薬剤師国家試験の受験資格を得ることができます。薬剤師をはじめ、医療に関わる種々の分野に貢献できる人材を育成することを目指した6年間の教育課程となっています。

生命薬科学科では、創薬生命科学の基礎から先端にいたる幅広い知識を学びます。それを基盤にした医薬品の開発研究者をはじめ、生命科学と医療の発展に貢献できる人材を育成することを目指した4年間の教育課程となっています。

両学科の教育課程ともに、講義、実習、卒業研究を通じて体系的かつ実践的に専門能力を身に付けることができるようになっていきます。また、これまで薬学部卒業生の多くは大学院に進学し、さらに高度な創薬生命科学又は医療機能薬学を身に付けた上で、医薬品の開発研究者や高度医療に貢献する薬剤師として活躍しています。

区 分	科 目 名
基礎薬学科目	薬学概論Ⅰ・Ⅱ 先端薬科学 機能形態学Ⅰ・Ⅱ 薬学物理化学Ⅰ～Ⅲ 構造生物学 薬品分析化学 機器分析化学 薬学有機化学Ⅰ・Ⅱ 薬学無機化学 基礎生物化学 生物薬品化学Ⅰ・Ⅱ 衛生化学 環境衛生学 微生物薬品学 細胞生物学 生薬学Ⅰ・Ⅱ 漢方薬物治療学 医薬品代謝学 放射薬品学 薬理学Ⅰ～Ⅳ 臨床薬理学Ⅰ・Ⅱ 薬剤学Ⅰ・Ⅱ 製剤学Ⅰ・Ⅱ 有機反応化学Ⅰ～Ⅳ 免疫学 病態生化学 医薬品情報学 医療経済学 生物統計学Ⅰ・Ⅱ 薬事関連法・制度Ⅰ・Ⅱ 公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ 薬学英語Ⅰ～Ⅳ 医薬品化学 生物有機化学
医療薬学科目 <sup>a)</sup>	薬局管理学 医療薬学Ⅰ～Ⅵ
生命薬科学科目 <sup>b)</sup>	有機金属化学 コロイド・高分子科学 バイオインフォマティクス ケミカルバイオロジー 分子感染症学 分子神経科学 ドラッグデリバリー論 創薬科学・知的財産活用論 生命薬学技術
演習科目	有機化学演習 薬学情報処理演習 プレゼンテーション演習 基礎薬学演習 薬学演習Ⅰ・Ⅱ 薬学特別演習 生命薬科学演習
実習科目	薬学実習（物理系実習Ⅰ～Ⅲ、化学系実習Ⅰ～Ⅳ、生物系実習Ⅰ～Ⅳ、医療機能系実習Ⅰ～Ⅲ） 臨床薬学実務実習Ⅰ～Ⅲ（事前学習、病院実習、保険薬局実習） <sup>a)</sup> 卒業研究実習
コミュニティ・ヘルスケア 卒前教育 <sup>a)</sup>	コミュニティ・ヘルスケア基礎・応用・発展・実践

a) 薬学科のみで履修する科目； b) 主に生命薬科学科のみで履修する科目； 他の科目は両学科共通

### (3) 専門教育（経済学部） 公共政策学科・マネジメントシステム学科・会計ファイナンス学科

経済現象の解明には、経験科学としての論理・実証分析が重要視されるので、政策や経営に関心を抱くと共に数理的な思考・分析能力、歴史的洞察力が必要です。

#### [公共政策学科]

区 分	科 目 名
学部共通科目	入門経済学 入門会計学 入門経営学 経済経営数学 入門ファイナンス 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ
学科基礎科目	マクロ経済学 ミクロ経済学 公共経済学 国際経済学 金融論 財政学 経済史 情報処理論 簿記論 データ分析基礎 統計分析基礎 現代統治機構論 行政法 現代経済・経営特論Ⅰ 現代経済・経営特殊講義 名古屋と行政 経済学史
学科応用展開科目	金融政策論 社会保障論 インセンティブの経済学 公共政策 地方財政論 租税論 産業組織論 実験経済学 国際公共政策論 経済開発論 医療経済学 応用マクロ政策 応用公共政策 都市経済学 国際金融論 行政学 日本経済史 外国経済史 国際経済関係論 労働市場政策 人事経済学 金融システム論 経営情報学 オペレーションズ・リサーチ 計量経済学 会社法 知的財産法 民法 経済法 労働法 日本経済・経営 環境経済学 現代経済・経営特論Ⅱ Research and Presentation Research and Discussion

#### [マネジメントシステム学科]

区 分	科 目 名
学部共通科目	入門経済学 入門会計学 入門経営学 経済経営数学 入門ファイナンス 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ
学科基礎科目	経営組織 経営戦略 組織行動 企業論 イノベーション・マネジメント マーケティング 労働経済学 制度経済学 経済学史 経済史 世界経済論 国際経済学 情報処理論 簿記論 データ分析基礎 財務分析 財務会計 会社法 知的財産法 現代経済・経営特論Ⅰ 現代経済・経営特殊講義 名古屋と行政 管理会計
学科応用展開科目	変革マネジメント 制度と文化のマネジメント 経営管理 人材マネジメント 国際経営論 商品開発 消費者行動論 決定と知識のマネジメント 生産管理 地域企業活性化論 日本経営史 日本経済史 外国経済史 外国経営史 国際経済関係論 労働市場政策 人事経済学 事例研究特論 マクロ経済学 ミクロ経済学 公共経済学 金融論 財政学 インセンティブの経済学 産業組織論 経済開発論 国際金融論 行政学 企業ファイナンス 統計分析基礎 応用財務分析 コーポレートガバナンス 経営情報学 オペレーションズ・リサーチ 経済法 労働法 日本経済・経営 環境経済学 現代経済・経営特論Ⅱ Research and Presentation Research and Discussion

#### [会計ファイナンス学科]

区 分	科 目 名
学部共通科目	入門経済学 入門会計学 入門経営学 経済経営数学 入門ファイナンス 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ
学科基礎科目	情報処理論 簿記論 企業ファイナンス 先物・オプション入門 データ分析基礎 統計分析基礎 財務分析 財務会計 管理会計 マクロ経済学 ミクロ経済学 金融論 財政学 企業論 経営組織 経営戦略 マーケティング 会社法 現代経済・経営特論Ⅰ 現代経済・経営特殊講義 名古屋と行政
学科応用展開科目	応用財務分析 税務会計 監査論 コーポレートガバナンス ファイナンス分析 簿記実務 会計実務 ファイナンス実務 財務情報処理 応用企業ファイナンス 金融システム論 証券投資論 経営情報学 オペレーションズ・リサーチ 計量経済学 金融政策論 国際金融論 行政学 組織行動 イノベーション・マネジメント 労働経済学 経営管理 人材マネジメント 国際経営論 商品開発 消費者行動論 知的財産法 民法 租税法 経済法 労働法 日本経済・経営 環境経済学 現代経済・経営特論Ⅱ Research and Presentation Research and Discussion

#### (4) 専門教育（人文社会学部）心理教育学科・現代社会学科・国際文化学科

人文社会学部では、学部発足以来の「豊かで人間らしい生き方well-being」という教育・研究の目標をふまえ、「持続可能な発展Sustainable Development」が模索されているなか、ESD(Education for Sustainable Development)を「自然や他者との関わりを通して地球社会および人間存在を問うとともに、私たち一人ひとりの『持続可能な生き方/あり方』を捉え直す教育」として実現することをめざし、学部共通科目としての基礎科目を設定し、それを土台として、3つの学科のカリキュラムを編成しています。

##### 〔学部共通科目〕

基 礎 科 目	
ESD入門 (地球規模の課題) グローバル化と経済開発 多文化共生 人の移動とグローバル・シティズンシップ (地域の課題) 都市開発と自然との共生 自文化理解 マイノリティと共生	

##### 〔心理教育学科〕

区 分		科 目 名
基 幹 科 目		ESD概論 多文化共生の心理学 児童・家庭福祉論1 子ども青少年支援論 社会学概論 政治学 法学 現代社会と福祉1 日本文化論1 国際関係論 多文化社会論 観光論 入門経済学I 文系のための環境理学入門 心理学概論 教育学概論2 教職概論1 発達心理学1 現代教育社会学 心理学統計法1 教育学概論1 臨床心理学概論 言語習得論
展 開 科 目	人 の 理 解	知覚・認知心理学B(認知心理学) 発達心理学2 学習・言語心理学 感情・人格心理学 神経・生理心理学 知覚・認知心理学A(知覚心理学) 動作学 現代日本語論 憲法2 人間関係論
	人 を 育 む	教育史 教育制度論 保育・教育課程総論 教育課程論 教育内容論 保育内容総論 教育方法論1・2 特別支援教育1 保育原理 教職概論2 心理学的支援法 障害者・障害児心理学 教育・学校心理学A(教育心理学) 教育・学校心理学B(教育相談) 福祉心理学
	生 涯 発 達 と 環 境	社会・集団・家族心理学A(社会・集団心理学) 社会・集団・家族心理学B(家族心理学) 健康・医療心理学 産業・組織心理学 司法・犯罪心理学 教育社会学 比較教育学 多文化保育・教育論 家族社会学(家庭支援論) 児童・家庭福祉論2 環境教育論 現代都市問題 NGO論 社会的ネットワーク論 地域社会学
	心 理 ・ 教 育 の 技 法	心理学統計法2 心理学実験1・2 心理学研究法 心理的アセスメント ESD演習(スタディツアー) 子ども青少年支援演習 保育内容演習(健康・人間関係・環境・言葉・音楽的表現・造形的表現) 子どもの理解と援助 子ども家庭支援の心理学 保育・教職実践演習(幼稚園) 社会調査法
関 連 科 目		社会的養護 社会的養護内容 子どもの保健 子どもの健康と安全 医療と保育1・2・3 子どもの食と栄養 保育相談支援 乳児保育1・2 保育内容演習2(健康・表現) 音楽表現1・2 造形表現1・2 身体表現1・2 言語表現1 保育実習1(保育所・施設) 保育実習指導1(保育所・施設) 保育実習2 保育実習指導2 保育実習3 保育実習指導3 学校体験活動 幼稚園教育実習(含事前事後指導) 医療保育実習 公認心理師の職責 人体の構造と機能及び疾病 関係行政論 精神疾患とその治療 心理演習 心理実習1・2 行政法1・2 民法1・2
演 習		基礎演習 発展演習 専門演習1・2・3・4
卒 論		卒業論文

##### 〔現代社会学科〕

区 分		科 目 名
基 幹 科 目		ESD概論 多文化共生の心理学 児童・家庭福祉論1 子ども青少年支援論 社会学概論 政治学 現代社会と福祉1 日本文化論1 国際関係論 多文化社会論 観光論 入門経済学I 文系のための環境理学入門 社会情報統計論1 社会調査法 社会調査論 社会経済史 現代社会と福祉2 医療福祉論

展開科目	都市と政策	現代都市問題 名古屋学2 (名古屋と観光) 国内フィールドワーク NGO論 地域社会学 地方自治論 憲法1・2 民法1・2 行政法1・2 労働法 経済法 会社法 租税法 知的財産法 現代思想 地理学 都市政策論 社会情報統計論2 環境政策論 データ解析法 名古屋と行政 公共政策論 行政学 ESDインターンシップ実習 環境経済学I・II
	社会と理論	社会学史 社会思想史 労働社会学 社会的ネットワーク論 政治社会学 メディア社会学 マスコミュニケーション論 ジェンダー社会学 家族社会学(家庭支援論) ジェンダーと歴史社会 環境社会学 質的調査法 意思決定論 国際法 国際政治史 共生論 経済学原論 日本の歴史(日本近代史1・2) 外国史概論 アジア史 グローバリゼーション研究 哲学 宗教学 社会・集団・家族心理学B(家族心理学)
	福祉と地域	社会福祉援助技術方法1・2 社会保障論 地域福祉論 公的扶助論障害者福祉論 社会福祉援助技術総論 児童・家庭福祉論2 老人福祉論 更生保護論 コミュニティワーク論 社会福祉管理運営 精神保健の課題と支援 人体の構造と機能及び疾病 権利擁護を支える法制度スクール(学校)ソーシャルワーク論 スクール(学校)ソーシャルワーク演習 スクール(学校)ソーシャルワーク実習指導 スクール(学校)ソーシャルワーク実習相談援助演習1・2・3・4・5 相談援助実習指導1・2 相談援助実習1・2
関連科目	文化人類学 国際日本学概論 日本文化史2 文化資源論 日本文化論2 国際協力論 アジア文化論 アジア社会論 現代教育社会学 教育史 教育社会学 東南アジア地域研究 比較教育学	
演習	基礎演習 社会調査実習1・2 社会理論演習 発展演習 専門演習1・2・3・4	
卒業論	卒業論文	

〔国際文化学科〕

区分	科目名	
基幹科目	ESD概論 多文化共生の心理学 児童・家庭福祉論1 子ども青少年支援論 社会学概論 政治学 法学 現代社会と福祉1 日本文化論1 国際関係論 多文化社会論 観光論 入門経済学I 文系のための環境理学入門 国際文化学 国際日本学概論 国際文化特講1・2 名古屋学1(名古屋学入門) 名古屋学2(名古屋と観光)	
展開科目	日本文化	文化資源論 人文情報学 日本文化論2 日本とグローバル社会 日本の歴史(日本社会史・日本近代史1・2) 日本文化史1・2 日本の文学1・2 Intercultural Studies 日本経済史 日本語・文化セミナー1・2 現代日本語論
	グローバル文化	文化人類学 宗教学 哲学 共生論 国際協力論 NGO論 外国史概論 イギリス事情 国際政治史 地理学 国際法 社会思想史 憲法2 ジェンダーと歴史社会 アジア史 アジア社会論 アジア文化論 東南アジア地域研究 アメリカ政治史 アメリカ社会論 グローバリゼーション研究 Area Studies 経済学原論 国際経済学I・II 外国経済史
	言語・異文化コミュニケーション	英語文学概論 英語圏文化論 英語文学講読 英語学概論 英語学各論 英文法概論 英文法各論 英語音声学概論 英語音声学各論 Academic Presentation Academic Writing Research and Presentation Research and Discussion ドイツ語中級 フランス語中級 中国語中級 韓国語中級
	実践知プロジェクト	英語短期研修A・B・C・D ヨーロッパ短期研修A・B・C アジア短期研修A・B・C ディズニーインターンシップ 海外フィールドワークA・B・C・D 国内フィールドワークA・B・C・D・E・F・G 国際センターインターンシップ短期・長期 国内ボランティア・インターンシップ1・2・3・4・5・6・7・8・9 ICTプロジェクトA・B・C・D 留学A・B・C・D・E・F・G・H・I・J・K・L・M・N・O・P
関連科目	教職概論2 教育学概論2 特別支援教育2 教育制度論 教育課程論 教育方法論2	
演習	基礎演習 発展演習 専門演習1・2・3・4	
卒業論	卒業論文	



**<注意>**

学生募集要項および出願書類所定用紙は、名古屋市立大学ウェブサイトのみで公表し、紙媒体での配布は行っていません。

■連絡先：名古屋市立大学 学生課入試係 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地  
TEL (052) 853-8020 FAX (052) 841-7428 E-mail : shingaku@adm.nagoya-cu.ac.jp

●令和4年7月公表